

配置パターン		A	B	C	D
配置 学校 位置	小学校 4校	寒川小学校	寒川小学校	寒川小学校	寒川小学校
		一之宮小学校	旭小学校	一之宮小学校	旭小学校
		旭小学校	小谷小学校	旭小学校	小谷小学校
		小谷小学校	南小学校	小谷小学校	南小学校
	中学校 2校	寒川中学校	寒川中学校	旭が丘中学校	旭が丘中学校
		旭が丘中学校	旭が丘中学校	寒川東中学校	寒川東中学校

確認項目		内容	結果	備考	結果	備考	結果	備考	結果	備考
学校 規模	1	小学校 2学級以上が確保できるか。 【第1段階検討項目】	○	1学年2学級以上を推移。	○	1学年2学級以上を推移。	○	1学年2学級以上を推移。	○	1学年2学級以上を推移。
	2	中学校 3学級以上が確保できるか。 【第1段階検討項目】	○	1学年3学級以上を推移。	○	1学年3学級以上を推移。	○	1学年3学級以上を推移。	○	1学年3学級以上を推移。
	3	大規模校が発生しないか。	○	現一之宮小学校に配置される学校が他と比較して多い児童数となるが、24学級を超えることはない。	○	現南小学校に配置される学校が他と比較して多い児童数となるが、24学級を超えることはない。	○	現一之宮小学校に配置される学校が他と比較して多い児童数となるが、24学級を超えることはない。	○	現南小学校に配置される学校が他と比較して多い児童数となるが、24学級を超えることはない。

配置パターン		A	B	C	D
配置 学校 位置	小学校 4校	寒川小学校	寒川小学校	寒川小学校	寒川小学校
		一之宮小学校	旭小学校	一之宮小学校	旭小学校
		旭小学校	小谷小学校	旭小学校	小谷小学校
		小谷小学校	南小学校	小谷小学校	南小学校
	中学校 2校	寒川中学校	寒川中学校	旭が丘中学校	旭が丘中学校
		旭が丘中学校	旭が丘中学校	寒川東中学校	寒川東中学校

確認項目		内容	結果	備考	結果	備考	結果	備考	結果	備考
通学 条件	4	適切な通学距離が設定できるか。 【第1段階検討項目】	○	全小・中学校が範囲内に収まる。	○	全小・中学校が範囲内に収まる。	○	全小・中学校が範囲内に収まる。	○	全小・中学校が範囲内に収まる。
	5	各学区における主要地点から学校までの距離	○	各地点から想定される通学路による距離は、現状の通学距離が2倍近くになる地域があるものの、おおむね4番の範囲内に収まる。	○	各地点から想定される通学路による距離は、現状の通学距離が1.5倍近くになる地域があるものの、おおむね4番の範囲内に収まる。	○	各地点から想定される通学路による距離は、現状の通学距離が2倍近くになる地域があるものの、おおむね4番の範囲内に収まる。	○	各地点から想定される通学路による距離は、現状の通学距離が1.5倍近くになる地域があるものの、おおむね4番の範囲内に収まる。
	6	通学の安全性が確保できるか。	○	一部の地域で、交通量や歩道の有無などにより、通学路が遠回りとなることが想定されるが、現状としては大きな問題はない。	○	一部の地域で、交通量や歩道の有無などにより、通学路が遠回りとなることが想定されるが、現状としては大きな問題はない。	○	一部の地域で、交通量や歩道の有無などにより、通学路が遠回りとなることが想定されるが、現状としては大きな問題はない。	○	一部の地域で、交通量や歩道の有無などにより、通学路が遠回りとなることが想定されるが、現状としては大きな問題はない。

配置パターン		A	B	C	D
配置 学校 位置	小学校 4校	寒川小学校	寒川小学校	寒川小学校	寒川小学校
		一之宮小学校	旭小学校	一之宮小学校	旭小学校
		旭小学校	小谷小学校	旭小学校	小谷小学校
		小谷小学校	南小学校	小谷小学校	南小学校
	中学校 2校	寒川中学校	寒川中学校	旭が丘中学校	旭が丘中学校
		旭が丘中学校	旭が丘中学校	寒川東中学校	寒川東中学校

確認項目			内容	結果	備考	結果	備考	結果	備考	結果	備考
学校 と 地 域 と の 連 携	7	自治会からの協力や連携のしやすさ。	<p>・多くの自治会からの協力や連携を進める上で、地域住民が学校へアクセスが容易であるか。</p> <p>※【参照】区域重ね図(小・中学校)</p>	△	南東部の自治会からのアクセスがやや遠くなるものの、4番で示す通り一定の距離の範囲内に収まっている。	△	南西部の自治会については、小学校へのアクセスが、南東部の自治会については中学校へのアクセスがやや遠くなるものの、4番で示す通り一定の距離の範囲内に収まっている。	△	南東部の自治会については、小学校へのアクセスが、南西部の自治会については中学校へのアクセスがやや遠くなるものの、4番で示す通り一定の距離の範囲内に収まっている。	△	南西部の自治会からのアクセスがやや遠くなるものの、4番で示す通り一定の距離の範囲内に収まっている。
	8	「地域とともにある学校」としての利便性は確保できるか。	<p>・学童クラブや広域避難場所等、地域の施設としての機能の視点から、地域住民の利便性を配慮した配置となっているか。</p> <p>※【参照】区域重ね図(小・中学校) 寒川町防災マップ</p>	○	現一之宮小学校に配置される学校の学童に関しては、児童数が増加するため既存より大きくする必要がある。広域避難場所としては、現南小学校に隣接する寒川高校があることから、地域的なバランスは保たれる。	○	現南小学校に配置される学校の学童に関しては、児童数が増加するため既存より大きくする必要がある。広域避難場所としては、地域的なバランスはよい。	○	現一之宮小学校に配置される学校の学童に関しては、児童数が増加するため既存より大きくする必要がある。広域避難場所としては、現南小学校に隣接する寒川高校があることから、地域的なバランスは保たれる。	△	現南小学校に配置される学校の学童に関しては、児童数が増加するため既存より大きくする必要がある。広域避難場所が未設置となることから地域的なバランスにかけるため、南西部に広域避難場所等の機能を持たせた施設等の設置が必要と考えられる。

配置パターン		A	B	C	D
配置 学校 位置	小学校 4校	寒川小学校	寒川小学校	寒川小学校	寒川小学校
		一之宮小学校	旭小学校	一之宮小学校	旭小学校
		旭小学校	小谷小学校	旭小学校	小谷小学校
		小谷小学校	南小学校	小谷小学校	南小学校
	中学校 2校	寒川中学校	寒川中学校	旭が丘中学校	旭が丘中学校
		旭が丘中学校	旭が丘中学校	寒川東中学校	寒川東中学校

確認項目		内容	結果	備考	結果	備考	結果	備考	結果	備考
施設 の 機能	9	十分な敷地要件を確保できるか。 既存の敷地において、 ・小・中学校設置基準（文部科学省令）を満たしているか。 ・新たに想定される学級数に応じた必要面積を十分確保できるか。 ※【参照】小・中学校設置基準 義務教育諸学校施設費国庫負担法の基準（以下「義務教育学校国庫基準」という）	○	令和4年5月時点と、令和22年(2040年)推計の児童生徒数や学級数を用い算出した、小・中学校設置基準で必要とされる面積を既存の敷地面積が全校上回っているため、確保できている。	○	令和4年5月時点と、令和22年(2040年)推計の児童生徒数や学級数を用い算出した、小・中学校設置基準で必要とされる面積を既存の敷地面積が全校上回っているため、確保できている。	○	令和4年5月時点と、令和22年(2040年)推計の児童生徒数や学級数を用い算出した、小・中学校設置基準で必要とされる面積を既存の敷地面積が全校上回っているため、確保できている。	○	令和4年5月時点と、令和22年(2040年)推計の児童生徒数や学級数を用い算出した、小・中学校設置基準で必要とされる面積を既存の敷地面積が全校上回っているため、確保できている。
施設 の 機能	10	十分な建物要件を確保できるか。 既存の校舎や体育館等において、 ・小・中学校設置基準（文部科学省令）を満たしているか。 ・新たに想定される学級数に応じた必要面積を十分確保できるか。 ・統合に伴う普通教室数は十分確保できているか。 ・少人数学級導入に伴う普通教室数は確保できるか。（増築の必要があるか。） ※【参照】学校の敷地及び建物の要件確認 ・小・中学校設置基準 ・義務教育学校国庫基準 上記2基準と比較して確認する。	△	既存の校舎や体育館は、下限値としての面積基準である小・中学校設置基準は超えるものの、多目的教室や少人数教室を設置した場合は標準と考えられる義務教育学校国庫基準については、寒川中学校と旭が丘中学校の校舎以外は満たしていない。 普通教室数は、現一之宮小学校と現寒川中学校にあっては、多目的教室や少人数教室が不足することが想定されるため増築または、他に使用している教室やスペース等の活用も想定される。	△	既存の校舎や体育館は、下限値としての面積基準である小・中学校設置基準は超えるものの、多目的教室や少人数教室を設置した場合は標準と考えられる義務教育学校国庫基準については、寒川中学校と旭が丘中学校の校舎以外は満たしていない。 普通教室数は、現南小学校は、多目的教室や少人数教室が不足することが想定されるが、ホール等が多数あるため、一部改築により対応が可能と想定される。	△	既存の校舎や体育館は、下限値としての面積基準である小・中学校設置基準は超えるものの、多目的教室や少人数教室を設置した場合は標準と考えられる義務教育学校国庫基準については、旭が丘中学校の校舎以外は満たしていない。 普通教室数は、現寒川東中学校については、現状のまま対応可能であるが、現一之宮小学校にあっては、多目的教室や少人数教室が不足することが想定されるため、増築または、他に使用している教室やスペース等の活用も考えられる。	○	既存の校舎や体育館は、下限値としての面積基準である小・中学校設置基準は超えるものの、多目的教室や少人数教室を設置した場合は標準と考えられる義務教育学校国庫基準については、旭が丘中学校の校舎以外は満たしていない。 普通教室数は、現寒川東中学校については、現状のまま対応可能であるが、現南小学校は、多目的教室や少人数教室が不足することが想定されるが、ホール等が多数あるため、一部改築により対応が可能と想定される。

配置パターン		A	B	C	D
配置 学 校 位 置	小学校 4校	寒川小学校	寒川小学校	寒川小学校	寒川小学校
		一之宮小学校	旭小学校	一之宮小学校	旭小学校
		旭小学校	小谷小学校	旭小学校	小谷小学校
		小谷小学校	南小学校	小谷小学校	南小学校
	中学校 2校	寒川中学校	寒川中学校	旭が丘中学校	旭が丘中学校
		旭が丘中学校	旭が丘中学校	寒川東中学校	寒川東中学校

確認項目	内容	結果	備考	結果	備考	結果	備考	結果	備考
11	教育方法等の多様化への課題はあるか。	△	<p>現一之宮小学校と現寒川中学校にあっては、多目的教室や少人数教室が不足することが想定される。</p> <p>校内LAN整備等のICT化については、現状でき得る対応はできているものの、ICT化に対応した机やモニターの導入なども考慮し、建替え等の際は普通教室の面積を現状より広げるなどの対応が必要と考えられる</p>	△	<p>現南小学校と現寒川中学校にあっては、多目的教室や少人数教室が不足することが想定される。</p> <p>校内LAN整備等のICT化については、現状でき得る対応はできているものの、ICT化に対応した机やモニターの導入なども考慮し、建替え等の際は普通教室の面積を現状より広げるなどの対応が必要と考えられる</p>	○	<p>現一之宮小学校は、多目的教室や少人数教室が不足することが想定されるが、現寒川東中学校は、十分な教室数が確保できる。</p> <p>校内LAN整備等のICT化については、現状でき得る対応はできているものの、ICT化に対応した机やモニターの導入なども考慮し、建替え等の際は普通教室の面積を現状より広げるなどの対応が必要と考えられる</p>	○	<p>現南小学校は、多目的教室や少人数教室が不足することが想定されるが、現寒川東中学校は、十分な教室数が確保できる。</p> <p>校内LAN整備等のICT化については、現状でき得る対応はできているものの、ICT化に対応した机やモニターの導入なども考慮し、建替え等の際は普通教室の面積を現状より広げるなどの対応が必要と考えられる</p>
12	複合化の可能性はあるか。	△	<p>現寒川・旭・小谷小学校及び旭が丘中学校は、再配置後の学級数以上の教室数があるため、複合化の余地がある。</p> <p>現一之宮小学校、寒川中学校にあっては、再配置後の学級数を考慮すると、多目的教室や少人数教室が不足することが想定されることから、複合化の際は、増築等が必要と考える。</p>	△	<p>現寒川・旭・小谷小学校及び旭が丘中学校は、再配置後の学級数以上の教室数があるため、複合化の余地があるが、現一之宮小学校から文化財学習センターの他校への移設が必要となる。</p> <p>また、現南小学校、寒川中学校にあっては、再配置後の学級数を考慮すると、多目的教室や少人数教室が不足することが想定されるため、複合化の際は、他のスペースの活用や増築等が必要と考える。</p>	△	<p>現一之宮小学校以外に配置する小・中学校は、再配置後の学級数以上の教室数があるため、複合化の余地がある。</p> <p>現一之宮小学校にあっては、再配置後の学級数を考慮すると、多目的教室や少人数教室が不足することが想定されることから、複合化の際は、増築等が必要と考える。</p>	△	<p>現南小学校以外に配置する小・中学校は、再配置後の学級数以上の教室数があるため、複合化の余地があるが、現一之宮小学校から文化財学習センターの他校への移設が必要となる。</p> <p>また、現南小学校は、再配置後の学級数を考慮すると、多目的教室や少人数教室が不足することが想定されることから、複合化の際は、他のスペースの活用や増築等が必要と考える。</p>

配置パターン		A	B	C	D
配置 学 校 位 置	小学校 4校	寒川小学校	寒川小学校	寒川小学校	寒川小学校
		一之宮小学校	旭小学校	一之宮小学校	旭小学校
		旭小学校	小谷小学校	旭小学校	小谷小学校
		小谷小学校	南小学校	小谷小学校	南小学校
	中学校 2校	寒川中学校	寒川中学校	旭が丘中学校	旭が丘中学校
		旭が丘中学校	旭が丘中学校	寒川東中学校	寒川東中学校

確認項目	内容	結果	備考	結果	備考	結果	備考	結果	備考
13	施設の使用目標年数を超過する時期と修繕、更新(建替え)時期のタイミングは適切か。 ※【参照】再編スケジュールと費用の試算	○	再編スケジュール案のとおり、劣化度の進んでいる校舎等の改修や更新を優先的に行うことで、安全な利用が可能と考えられる。	○	再編スケジュール案のとおり、劣化度の進んでいる校舎等の改修や更新を優先的に行うことで、安全な利用が可能と考えられる。	○	再編スケジュール案のとおり、劣化度の進んでいる校舎等の改修や更新を優先的に行うことで、安全な利用が可能と考えられる。	○	再編スケジュール案のとおり、劣化度の進んでいる校舎等の改修や更新を優先的に行うことで、安全な利用が可能と考えられる。
整備経費の検討	14 更新(建替え)までにかかる修繕・改修費はいくらか。 ・校舎の安全面で大規模改修を可とした場合の費用を試算(場合により簡易な改修のみを含む) ※【参照】再編スケジュールと費用の試算		○長寿命化実施 68億7,942万2,000円 ○長寿命化一部実施 56億 605万8,000円 ○長寿命化未実施で修繕費のみ 32億1,012万5,000円		○長寿命化実施 61億7,697万4,000円 ○長寿命化一部実施 60億8,407万1,000円 ○長寿命化未実施で修繕費のみ 37億1,330万3,000円		○長寿命化実施 82億775万2,000円 ○長寿命化一部実施 48億6,264万8,000円 ○長寿命化未実施で修繕費のみ 24億9,188万円		○長寿命化実施 75億530万4,000円 ○長寿命化一部実施 53億6,582万6,000円 ○長寿命化未実施で修繕費のみ 29億9,505万8,000円
			この数値は、現在精査中の数値であり、一部未計上の費用棟があります。 次回検討会において、改めてお示ししますので、本数値はあくまでも参考値として取り扱います。						
15	更新(建替え)費用はいくらか ・想定される学区により学級数を推計し、標準的な学校建築費を試算する。 ※【参照】再編スケジュールと費用の試算		149億8,143万2000円		150億1,105万4,000円		156億9,967万7,000円		157億2,929万9,000円
			この数値は、現在精査中の数値であり、一部未計上の費用棟があります。 次回検討会において、改めてお示ししますので、本数値はあくまでも参考値として取り扱います。						
14・15	修繕・改修・更新費の総額 14番と15番で試算した費用の合計 ※【参照】再編スケジュールと費用の試算		○長寿命化実施 218億6,085万4,000円 ○長寿命化一部実施 205億8,749万円 ○長寿命化未実施で修繕費のみ 181億9,155万7,000円		○長寿命化実施 211億8,802万8,000円 ○長寿命化一部実施 210億9,512万5,000円 ○長寿命化未実施で修繕費のみ 187億2,435万7,000円		○長寿命化実施 239億742万9,000円 ○長寿命化一部実施 205億6,232万5,000円 ○長寿命化未実施で修繕費のみ 181億9,155万7,000円		○長寿命化実施 232億3,460万3,000円 ○長寿命化一部実施 210億9,512万5,000円 ○長寿命化未実施で修繕費のみ 187億2,435万7,000円
			この数値は、現在精査中の数値であり、一部未計上の費用棟があります。 次回検討会において、改めてお示ししますので、本数値はあくまでも参考値として取り扱います。						

配置パターン		A	B	C	D
配置 学 校 位 置	小学校 4校	寒川小学校	寒川小学校	寒川小学校	寒川小学校
		一之宮小学校	旭小学校	一之宮小学校	旭小学校
		旭小学校	小谷小学校	旭小学校	小谷小学校
		小谷小学校	南小学校	小谷小学校	南小学校
	中学校 2校	寒川中学校	寒川中学校	旭が丘中学校	旭が丘中学校
		旭が丘中学校	旭が丘中学校	寒川東中学校	寒川東中学校

確認項目	内容	結果	備考	結果	備考	結果	備考	結果	備考
整備 経 費 の 検 討	16 公民連携の可能性	○	・公民連携による施設の建築及び管理運営が可能か。 ※【参照】公民連携事例 施設の更新にあたり、町が直接整備する手法だけでなく、PPPやPFI等の公民連携による施設の整備も想定される。 管理や運営方法についても見直しを図ることで、財政負担の軽減だけでなく、教職員の業務の軽減を図るなどの効果が期待できる。	○	施設の更新にあたり、町が直接整備する手法だけでなく、PPPやPFI等の公民連携による施設の整備も想定される。 管理や運営方法についても見直しを図ることで、財政負担の軽減だけでなく、教職員の業務の軽減を図るなどの効果が期待できる。	○	施設の更新にあたり、町が直接整備する手法だけでなく、PPPやPFI等の公民連携による施設の整備も想定される。 管理や運営方法についても見直しを図ることで、財政負担の軽減だけでなく、教職員の業務の軽減を図るなどの効果が期待できる。	○	施設の更新にあたり、町が直接整備する手法だけでなく、PPPやPFI等の公民連携による施設の整備も想定される。 管理や運営方法についても見直しを図ることで、財政負担の軽減だけでなく、教職員の業務の軽減を図るなどの効果が期待できる。
	17 跡地利用の可能性	△	・学校再配置の結果、未配置校となった学校敷地の利活用・売却の見込みについて。 ※【参照】校地土地用件表 未配置となる現南小学校と現寒川東中学校は共に市街化調整区域に位置する。 両校ともに、学校以外の利活用の幅が狭く、売却の見込みは薄い。	△	未配置となる現一之宮小学校は、第1種住居地域、現寒川東中学校は市街化調整区域に位置する。 現一之宮小学校は、比較的に利活用の幅は広く売却の見込みはあるが、現寒川東中学校は、学校以外の利活用の幅は非常に狭いため、売却の見込みは薄い。	△	未配置となる現南小学校は市街化調整区域、寒川中学校は第1種中高層住居専用地域に位置する。 現南小学校は、学校以外の利活用の幅は非常に狭いため、売却の見込みは薄い。寒川中学校は、住居としての利活用は可能であるため、売却の見込みはある。	○	未配置となる一之宮小学校は第1種住居地域、寒川中学校は第1種中高層住居専用地域に位置する。 現一之宮小学校は、比較的に利活用の幅は広く、寒川中学校は、住居としての利活用は可能であるため、売却の見込みはともにある。

配置パターン		A	B	C	D
配置 学 校 位 置	小学校 4校	寒川小学校	寒川小学校	寒川小学校	寒川小学校
		一之宮小学校	旭小学校	一之宮小学校	旭小学校
		旭小学校	小谷小学校	旭小学校	小谷小学校
		小谷小学校	南小学校	小谷小学校	南小学校
	中学校 2校	寒川中学校	寒川中学校	旭が丘中学校	旭が丘中学校
		旭が丘中学校	旭が丘中学校	寒川東中学校	寒川東中学校

確認項目			内容	結果	備考	結果	備考	結果	備考	結果	備考
新 し い 学 校 の か た ち	18	小・中一貫教育導入時の有効性	・配置状況などから連携しやすいか、弊害となることは何かなどにより比較 ※【参照】小・中一貫教育導入に係る課題整理表								
	19	コミュニティ・スクール	・配置状況などからコミュニティ・スクールの運営の課題などがあるか。 ※【参照】コミュニティ・スクール推進に係る課題整理表								
	20	少人数学級	・少人数学級への対応が可能か。 ※【参照】少人数学級に係る課題整理表								
総 括	21	総括	・項目全体的な整理								